

–ゼンリンの地図機能が追加– 沖縄全域における観光型 MaaS 実証事業 「沖縄 MaaS」のサービス Phase2 を 3 月 17 日(水)より開始

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、4 企業と沖縄県の 7 自治体で構成される沖縄 MaaS 事業連携体(※)の一員として、沖縄全域における観光型 MaaS の実証事業である「沖縄 MaaS」の第 2 フェーズのサービスを 3 月 17 日(水)より開始しました。

「沖縄 MaaS」は、国土交通省の「令和 2 年度日本版 MaaS 推進・支援事業」に採択された実証事業であり、沖縄全域のモノレール、バス、船舶などの乗車券や観光／商業施設、その他サービスとの連携を実現したサービスです。2020 年 12 月 23 日(水)より一部事業者のチケットを電子化したサービスを第 1 フェーズとして開始しており、今回第 2 フェーズではサービス提供地域を沖縄全域に拡大するとともに、新たに検索、地図サービス機能などを加え、より快適な移動の実現を目指します。

※4 企業(沖縄都市モノレール株式会社、株式会社ゼンリン、TIS 株式会社、株式会社琉球銀行)と 7 自治体(石垣市、浦添市、宮古島市、今帰仁村、伊江村、座間味村、竹富町)で構成され、多様な交通手段や観光・商業施設、サービスの利用の実現を目指している事業連携体。

■「沖縄 MaaS」の詳細はこちら: <https://service.pacyierge.com/okinawa-maas/>

■ 第 2 フェーズ実施概要

① ルート検索、地図サービスの提供

ルート検索の目的地設定時に、場所・目的地検索や、地図上からの選択ができます。

目的地までのルート検索結果表示に加え、検索結果に関連するお得なチケットがある場合は表示され、チケット購入画面のリンクより購入することができます。



②沖縄全域の交通事業者、観光施設のチケット電子化(新たに参画する事業者は下記となります)

【本島】	沖縄エアポートシャトル
【本島周辺離島】	伊江島観光バス、伊江村営フェリー、座間味村営バス、座間味村営フェリー
【先島諸島】	東運輸、西表島交通、カリー観光、中央交通、宮古協栄バス、 八千代バス・タクシー、安栄観光、八重山観光フェリー、 石垣島タクシー事業者 5 社(かびら観光交通等)
【観光施設】	浦添市美術館、浦添グスク・ようどれ館、古宇利オーシャンタワー、 ナゴパイナップルパーク、今帰仁城跡、竹富島入島料

③商業施設や地域加盟店のクーポン電子化

④他サービスとのリンク連携

浦添市オンデマンドバス「うらちゃん mini」等、全 9 件のサービス(2021 年 3 月 17 日現在)

■実証事業におけるゼンリンの MaaS への取り組み

MaaS サービスによって収集されるさまざまな移動データをゼンリンの保有する地図情報に重畳し、詳細な交通ネットワークに紐づけることで、地域ごとに異なる交通課題の可視化、地域に合わせた移動の最適化を目指します。

■今後の展望

地域における移動について、地域交通のさらなる利活用や、移動活性化のきっかけとなる地域特有のコンテンツの掘り起こしなどの課題があります。本課題に対し、移動者それぞれの趣味・嗜好や生活様式に応じた最適な移動手段の提供が期待されます。

ゼンリンは、本実証から得られた様々な移動データを地図に紐づけ可視化し、移動者への最適経路や寄り道の提案に貢献するための分析技術の開発及び、地域活性化につながるソリューションの提供を目指します。

